



三菱 バス乾燥・暖房・換気システム(壁掛タイプ)

形名

V-241BK-RN

リニューアル バスカラット

据付説明書

販売事業者・据付事業者様用

特定保守製品

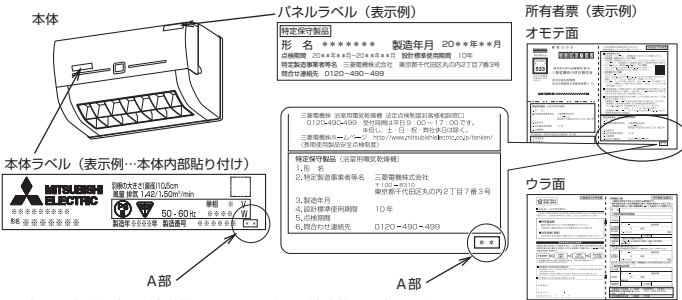
※法定点検が必要な製品です。

特定保守製品に関するお願い

- 本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
■特定保守製品とは、経年劣化により家屋・身体に危害をおよぼすおそれがあるため、所有者様は点検期間に点検を行う(有償の法定点検)などの保守を行うことが求められている製品です。
■消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者様は、製品の製造・輸入事業者(特定製造事業者等)に対して、所有者情報を提供する義務(消費生活用製品安全法第32条の8第1項)が定められています。

据付事業者様へ

- 本体とパネルと所有者票の製造年月を合わせるため下記の確認を行って据付けをお願いします。
1) 本体ラベル、パネルラベルと所有者票の「形名」が同じであること
2) 本体ラベルと所有者票の「A部」が同じであること
3) 所有者票とパネルラベルの「製造年月」が同じであること
■所有者票はパネルにテープで貼付けてあります。据付けが完了するまでパネルに貼付けたままとしてください。



■別冊の取扱説明書は所有者様用ですので、必ず所有者様にお渡しください。

販売事業者様へ

- 付属の取扱説明書と所有者票(パネルに貼り付け)は、所有者様(消費者様、賃貸業者様)に必ずお渡しください。
■パネルラベルと所有者票に記載されている「形名」「製造年月」が不一致にならないよう所有者様にお渡しください。
■所有者様(消費者様、賃貸業者様)に対し所有者票に記載されている法定説明事項をご説明いただく義務(消費生活用製品安全法第32条の5第1項)と、所有者情報の提供にご協力いただく義務(消費生活用製品安全法第32条の8第3項)が定められていますので、ご協力をお願いします。

- 本製品は住宅用です。業務用途では使用できません。
■据付けを始める前に、この据付説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
■電気工事は、販売事業者・据付事業者様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。(お客様自身で据付けてはなりません。無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限(火災予防条例に基づく指導)がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。(法規制に適合しないことがあります)(本製品は(一社)日本電機工業会で定める自主試験基準に準じた試験を実施し、安全性を確認しております)

■別冊の「取扱説明書」はお客様用です。お客様に必ずお渡しし、取扱説明書に従って正しい使いかたをご説明ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

Table with safety warnings: 警告 (Warning), 禁止 (Prohibition), 分解禁止 (No Disassembly), 指示に従う (Follow Instructions), 注意 (Caution). Includes icons and text for each category.

Table with safety notes: 注意 (Caution). Includes text about installation location and handling of components.

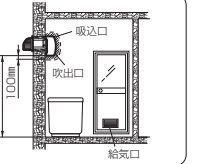
据付け前のお願い

- この製品は、浴室または脱衣室の壁面据付け専用です。浴室または脱衣室以外の場所への据付け、天井面への据付けはしないでください。
●従来機種からの取替えの場合、電源電圧が異なるため、本体と換気部を必ずセットで交換してください。
●浴室の標準適用サイズは1坪(1.6m×1.6m)です(最大1.5坪(1.6m×2.4m)までです)
●浴室が広くならないと、暖房・乾燥効果が減少します。
●スチームサウナ付の浴室には据付けしないでください
●高温のため故障の原因になります。
●効果的に換気するため給気口を設けてください
●つねに高温(40℃以上)になるとともに据付けしないでください
●高温では温度過昇防止装置が働かずヒーターが通電しません。
●温泉の浴室やプール等を使用しないでください
●故障の原因になります。
●本体を傾けて据付けしないでください
●故障の原因になります。
●有機溶剤やスプレーを使う場所には据付けしないでください
●故障の原因になります。

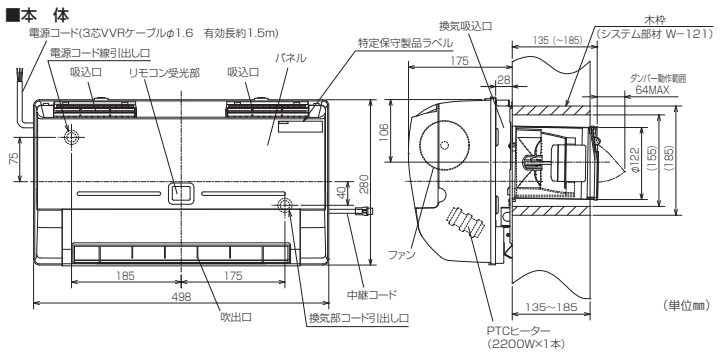
- 本製品は特定保守製品であり後日点検が必要になります。点検を実施できるように据付け時には下記点にご注意いただき設置をお願いします。
●電源配線の接続部分がある中であつたり、後日点検できない場所に配置されないようにしてください。
●製品を点検修理できない場所には据付けないようにしてください。
●製品の据付け部には接着剤や両面テープ等、製品の取り外しが困難になるようなものは使用しないでください。

●製品の据付けには、下記の規制がありますので、あらかじめご確認ください

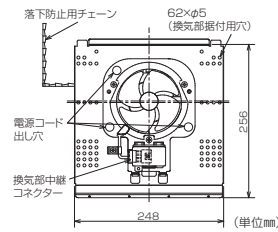
地域により防災上の制限(火災予防条例に基づく指導)が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署へお問い合わせください。
●指定する寸法で据付けること。
●本体は壁面に堅固に据付けること。
●浴室内への温風吹出口および空気吸込口前方100mm未満の範囲内には造営材など(乾燥する衣類を含む)を設けず。
●漏電しゃ断器を設けること。
●浴室換気扇からの取替の場合、漏電しゃ断器の電流容量(20A)と電源電線の太さ(φ2.0)を確認し、不適合の場合は交換してください。



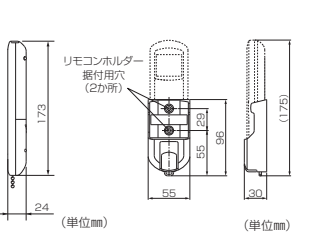
各部のなまえと寸法(外形寸法図)



換気部詳細

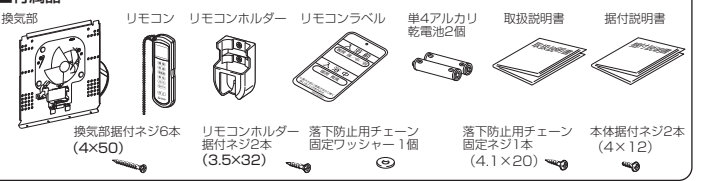


リモコン



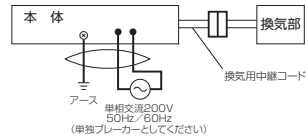
●お願い リモコンは生活防水となっていますが、浴槽の上や直接お湯や水がかかる場所には据付けしないでください。

■付属品



■結線図

※太線部分を施工してください。



■現地準備していただく部品

●角穴・丸穴共通

Table listing required parts and specifications: 単相交差200V電源コード, アース線, アース棒, 屋外ウェザーカーバー, 防水ジョイントボックス, 衣類吊下げ用パイプ, アルミテープ, コーキング材, コルゲートチューブ.

●角穴の場合

Table for corner hole specifications: 木枠 W-121 適合 本体据付け用

●丸穴の場合

Table for round hole specifications: 接続パイプ 一般配管用ステンレス鋼管 または塩化ビニル管の薄肉(VU)、φ150 1本

据付方法

1 据付け前の準備

既存の換気口を利用する場合

- 1 既存の換気扇または換気ガラリを取りはずす
- 2 右図に示す開口があることを確認する
 - 開口は天井や壁面から所定の位置が確保できていることを確認する。据付けできない場合や法規制を満足できない場合があります。

新規に開口をあける場合

浴室の屋外側の壁の開口位置(右図)に角穴または丸穴をあける

角穴の場合

- 当社システム部材の木枠(W-121)を使用する。
- 壁厚が木枠の奥行き(175mm)を超える場合は、丸穴にて据付けてください。
- 製品質量約9.0kgのため、木枠は浴室の壁面にしっかりと固定してください。

丸穴の場合

- 丸穴の場合は壁厚に応じて接続パイプ(呼び径150)をご用意ください。

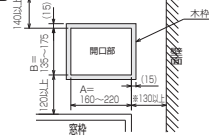
壁厚	一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)	呼び径
壁厚 > 185	増化ビニル管の薄肉(VU)、または一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)	150
壁厚 ≤ 185		

- 使用する接続パイプにより開口寸法が異なります。
- 雨水の浸入を防ぐため壁穴とダクトとのすき間のコーキングは確実に行ってください。
- 背面は十分な補強を行ってください。
- 壁厚 > 185mmの場合は屋外に向けて下り勾配になるように1/100の傾斜をつけてください。(雨水の浸入防止)

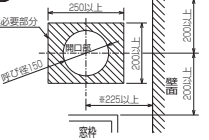
■据付け可能な開口位置・寸法 (単位:mm)

※ 下記は本体の端を換気部の端に合わせて据付けたときに、壁面・天井面より本体の温風吹出口および空気吸込口まで100mm確保できる寸法となっています。本体と換気部の中心を合わせて据付けの場合は、「※」の寸法に100mm以上加えた寸法としてください。

角穴の場合



丸穴の場合



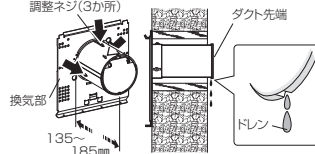
⚠ 警告

メタルスズリ、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合は、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように据付ける。漏電した場合、発火の原因。

2 換気部の据付け

1 壁厚に合わせてダクト部分の調整ネジを緩めて調整し、ネジを固定する(壁厚135~185mmの間は調整可能)

- ダクトの先端が屋外出るように位置を決める。
- 位置決め時に生じる換気ダクトの長尺のすき間、パイプのあわせ部のすき間はアルミテープ(市販品)でふさぐ。



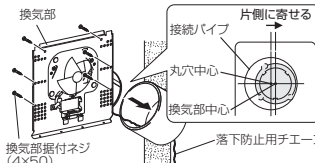
2 落下防止用チェーンを開口部に通し、換気部を据付ネジ6本で固定する

角穴の場合

- ネジ締めの際は、なるべく木枠の厚みに対し中央にある穴を使用して据付ける。
- 木枠に付属の据付ネジを使用する。

丸穴の場合

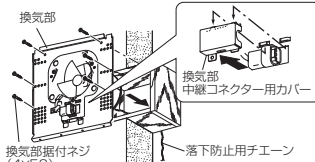
- 据付ける壁面は十分な補強を行ってください。
- 丸穴の場合は電源コードを通すため、換気ダクトを片側に寄せて据付ける。
- 付属の据付ネジを使用する。
- 壁がタイルの場合はタイルが割れないよう目字にステンレス製のタイル用のネジ(市販品)6本で据付ける。



角穴・丸穴共通

- 外気逆流防止のため、電源コードを通す穴以外の不要な穴はアルミテープでふさぐ。
- 水平に据付ける。本体が傾くと、故障の原因になります。

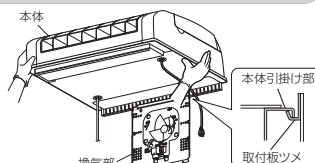
3 換気部中継コネクタ用カバーを取りはずす



3 本体の据付け

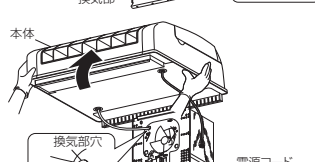
1 本体の引掛け部を換気部の上部ツメに引掛ける

- 本体は左右あわせて200mmスライドできます。壁面・天井面より、本体の温風吹出口および空気吸込口まで100mm確保されていることを確認します。
- 本体が換気部からはみ出さないように引掛けます。
- 確実に引掛かっていることを確認します。



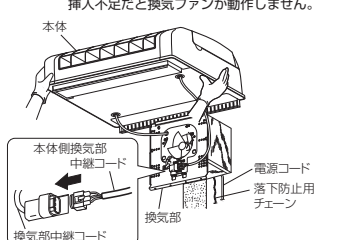
2 本体を手前に持ち上げて、電源コードを換気部の穴に通して押し込む

- 本体を手前に持ち上げる際、手をかける位置によっては、本体が傾く場合があるのでバランスのよい位置を選んで持ってください。

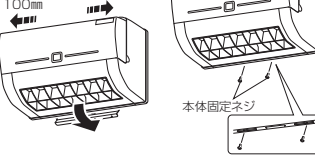


3 本体を手前に持ち上げた状態で、本体側の中継コネクタを換気部側の中継コネクタに差し込む

- カチッと音がするまでしっかり挿入してください。挿入不足だと換気ファンが動作しません。



4 換気部中継コネクタ用カバーを付ける



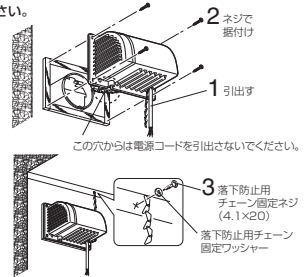
5 本体下部と換気部を付属ネジ2本で固定する

- 本体を換気部に降ろす際、電源コードおよび換気部中継コードがかかま込まないように注意する。
- 本体のスライド位置により、ネジ固定位置が異なります。

4 ウェザーカバー(システム部材)の据付け(屋外側)

雨水の浸入を防ぐため、ウェザーカバーは必ず据付けてください。

- 1 ウェザーカバーのコード穴から電源コードを取出し、ウェザーカバーのすき間から落下防止用チェーンを取り出す
- 2 外壁面側にウェザーカバーをネジで据付ける
 - 換気部シャッターの開閉を必ず確認してください。降音物(ウェザーカバーのしきり板など)がある場合は取り除いてください。
- 3 外壁面側の補強された部分に落下防止用チェーンを取付ける
 - 落下防止用チェーンは、ワッシャーにネジを通して木枠以外のしっかり補強された部分に取付ける。
 - 落下防止用チェーンは、たるまないように取付ける。

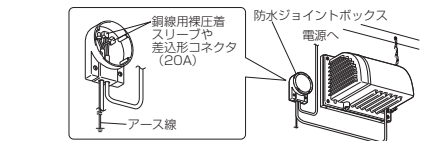


5 電気工事

- 電源接続は必ず浴室外で行う。
- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカー(20A)に接続する。
- 漏電しゃ断器は20Aのものを使用する。
- 壁スイッチの焼損による電源の接続はしない。
- 壁スイッチの焼損や本体の誤動作、故障の原因になります。
- 0種接地(アース)工事を確実に行う。
- 電源コードに接続する電線は2.0を使用する。
- 径が小さいと電線の焼損や火災の原因になります。
- 防水ジョイントボックス(市販品)の中で銅線用圧着スリーブ(市販品)、差込形コネクタ(市販品)などで結線図に従って結線してください。
- 屋外では電源コードが露出しないように、コルゲートチューブ(市販品)で覆ってください。

⚠ 警告

- 単相交流200Vを使用する
 - アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を取付ける
 - 電源コードの接続は確実に行う
 - 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う
- 火災や感電の原因



6 リモコンホルダーの据付け

1 リモコンに付属の単4アルカリ乾電池2本を入れてフタをする

- フタはしっかりと取付けてください。



2 リモコンホルダーを付属のネジ2本で据付ける

- リモコンは生活防水ですが、浴槽の上や直接水やお湯がかかる位置には据付けないでください。
- 浴室に据付けるか、脱衣室に据付けるかはお客様と相談して決めてください。



浴室に据付ける場合

- 浴室に据付ける場合は、ボールチェーンを取付けてください。
- ボールチェーンを取付けた状態でリモコンが床に届かない高さで据付けてください。
- ネジ穴は必ずコーキング処理を行ってください。

脱衣室(浴室以外)に据付ける場合

- ボールチェーンをはずしてご使用いただくことも可能です。

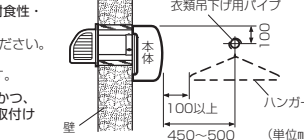


3 リモコンラベルをリモコンホルダー下部のリング、またはボールチェーンに取付ける

- ボールチェーンに取付ける場合は、なるべくリモコンホルダーに近い位置に取付けてください。

7 衣類吊下げ用パイプ(市販品)取付け

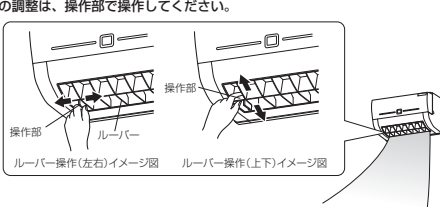
- 右図の位置に取付ける
- パイプ(市販品)は、1本当たり耐荷重4kg以上で、耐食性・不燃性のものを使用する
- また、取付け部分が十分に強度のあることを確認してください。
- パイプの取付け位置は必ず図の寸法で取付ける。指定以外の寸法で取付けると、乾燥時間が長くなります。



- 本体から吊下げパイプまでの距離は450mm以上離し、かつ、ハンガーを掛けたとき100mm以上確保できる寸法で取付けてください。近づきすぎると衣類の変色や変質の原因になります。

8 風向の調整

- 風が強い場面中央を向くように、ルーバーの角度を調整してください。
- ルーバーの角度の調整は、操作部で操作してください。



試運転

- 据付けが完了したら、再度結線が間違っていないか、ご確認ください。
- 次に、取扱説明書の「使いかた」を参照して、お客様立ち会いで全運転モードの試運転を行い、下記をご確認ください。

- 1 本体は確実に据付けられていますか?
- 2 リモコンを操作して、取扱説明書どおり動作しますか?
- 3 換気ファンは運転していますか?
- 4 運転中に振動や異常音がありませんか?

- 引き渡しまで期間がある場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、この「据付説明書」は別冊の「取扱説明書」とともにお客様にお渡しください。

三菱電機株式会社

■平日 9:00~12:00 13:00~19:00(土・日・祝・弊社休日以外)
 三菱電機株式会社 中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場1番3号 電話 0120-726-471(無料)
 ■その他の時間
 三菱電機株式会社 〒154-0001 東京都世田谷区池尻3-10-3 電話 0120-139-365(無料)
 この説明書は、再生紙を使用しています。